

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		中学部		学 年	3年
教科等名		自立活動		グループ名	A組
ねらい		・人と接する際の適切な距離を保つことができる。 ・自らの意思を伝えたり、他者の思いを受け止めたりしながら行動しようとする態度を養う。 ・体の動かし方を知り、目と手の協応動作の力を高め、自分でできることを増やす。			
担当教員		○原口 稔			
予定授業時数		72.5			
使用教科書					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5 6 7	・持ち物を整理しよう ・姿勢を正そう ・個別課題	○	〈健康の保持〉 ・生活リズムの形成 ・体温の調節(衣服の着脱など) ・手洗い、うがい、歯みがき ・運動(ストレッチ、模倣など) 〈心理的安定〉 ・授業への見通しをもつ ・変化への対応の仕方を知る ・日常生活の指導において、「楽しかったこと」「よくできたこと」を発表する	〈知識・技能〉 ・机に閉まってある椅子を引き、座ることができる。 〈思考・判断・表現〉 ・イラストや写真を見て、同じところに荷物を置くことができる。 〈主体的に取り組む態度〉 ・排せつ後や給食前に、自ら手洗いをすることができる。	・教室の床に机を置く場所をテープで貼り示す。椅子を引く際に、「引きます」など、言葉掛けをし、徐々にその支援を減らす。 ・物を置く位置に写真やイラストを貼る。
9 10 11 12	・係活動に取り組もう ・安全に行動しよう ・個別課題	○	〈人間関係の形成〉 ・他者の意図や感情の理解 ・自己の理解と行動の調整 ・学級、学年、学部集団を意識した活動 ・係活動 ・個別課題学習 〈環境の把握〉 ・授業で使用する教室を把握する。	〈知識・技能〉 ・手元をよく見て、物を掴んだり、シールを貼ったりする。 〈思考・判断・表現〉 ・自他の安全に留意しながら移動ができる。 〈主体的に学習に取り組む態度〉 ・係活動に自らすすんで取り組むことができる。	・適切な距離を事前に提示する。視覚支援として、床にテープを貼ったり、ポールやコーンを使ったりする。 ・プットイン課題やペグ差し課題、アプリでの平仮名なぞり課題などを毎日繰り返し取り組む ・毎日繰り返し取り組める係活動を設定する。
1 2 3	・自分の気持ちを伝えよう ・体を大きく動かそう ・個別課題	○	・授業の始まりと終わりの挨拶を知る。 〈身体の動き〉 ・身体操作能力(模倣など) ・手指の巧緻性を高める学習 ・目と手の協応動作 〈コミュニケーションに関すること〉 ・自分の気持ちを伝える ・相手の要求や指示に応じる ・状況に応じたコミュニケーション	〈知識・技能〉 ・自分の気持ちを言葉やサインで相手に伝えることができる。 〈思考・判断・表現〉 ・サインやカードで、自分の意思を伝えることができる。 ・教員の手本を見て、動作を模倣することができる。 〈主体的に学習に取り組む態度〉 ・課題にすすんで取り組み、準備や片付けも行うことができる。	・写真カードや言葉、サインなどで自分の気持ちを伝える方法を指導する。 ・自分の気持ちを伝える機会を毎日設定する。 ・授業や気持ちを表すイラストを示し、選択できるようにする。 ・動きの大きな身体模倣から取り組む。生徒が手本に注視できるよう、教員の提示する距離やタイミングを工夫する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。